

令和8年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができている。
- 相手に伝わるように、話の中心が明確になるよう構成することができている。
- 漢字を文の中で正しく書くことに課題が見られる。

【算 数】

- 十進位取り記数法の仕組みを理解できている。
(例) $1 \cdot 4 \cdot 7$ の3枚のカードで最も大きい数を作る。)
- 基本的な体積の求め方を理解できている。
- 複数の情報から必要な情報を選択する問題に課題が見られる。(グラフの読み取り)
- 基準量、比較量、割合の関係(テープ①はテープ②の何倍になっているか。)を表す図の理解に課題が見られる。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- ICT 機器を活用した学習が定着している。
- 多様な意見を受け入れる学級風土ができあがっている。
- 基本的な生活習慣(朝ごはん・SNSや動画視聴時間の長時間化など)に課題が見られる。
- 読書離れと、国語・算数に対する苦手意識に課題がみられる。

3 評価と今後の取組

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・算数科における少人数指導の実施
- ・全校での授業改善の推進(分かる・できる授業づくり)
- ・国語、算数で定着が不十分だった内容の重点指導(毎週木曜日の朝タイム)

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・導入の工夫や自己選択学習を通して、学習意欲の向上を図る授業改善の推進。
- ・給食前学習を活用した、個別最適化した学びの充実。

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・赤ペン先生(保護者)による学習の定着と自己肯定感の向上
- ・全校での名人の取組(漢字名人等)
- ・話の聞き方(相手の目を見て、いい反応するなど)の徹底

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・朝の読書タイムの充実と、図書館利用の促進
- ・自分で考え、みんなで話し合って解決する学びの推進